

1 次にピースおおさかについて伺います。

戦後も70年を過ぎ、先の大戦を自分自身の体験として語れる方が少なくな
る中、次代を担う子どもたちに戦争の悲惨さ・平和の尊さを伝えるため、
ピースおおさかの役割はますます重要と認識しております。

ピースおおさかは、先般、平成3年の開館以来はじめて、常設展示の大掛
かりなりリニューアルを行い、平成27年
4月にリニューアルオープンしました。

一方、建物も築25年を過ぎ、既に大規模補修工事をする時期を経過して
おり、雨漏りなど経年劣化もかなり進んでいると聞いています。

ピースおおさかは、小中学生をはじめ内外から多くの人たちが訪れる大
切な施設です。平成29年度当初予算案では、施設の補修等整備費が計上さ
れていますが、どのような工事を予定されているのか、お伺いします。

A1 【田上人権企画課長】

○ ピースおおさかの維持補修については、平成29年度当初予算案において
緊急を要する箇所の補修・改修に要する経費を計上したところ。

主な工事は、無停電電源装置、自動火災報知設備、屋上防水、3階空調設
備、館内監視カメラの設置等。

Q2 今後とも、この平和の施設が長きにわたり適切に機能するよう、維持
補修に計画的に取り組むことが不可欠と考えますが、所管課の考えをお伺
いします。

A2 【田上人権企画課長】

○ 運営財団において、大阪府ファシリティマネジメント基本方針に準拠し
た、向こう30年間の長期修繕計画と直近10か年の修繕計画を、平成26・
27年度の2か年で策定しており、今後とも、ピースおおさかがその役割を
将来にわたり安定して果たしていけるよう、施設の適切な維持管理に努め
る。

Q3 また、今回、府民からの要望を受けて、リニューアル後の展示の一部を手直しするという事も聞いていますが、このような施設は展示が陳腐化しないよう、また、リピーターや国内外からの観光客を呼び込むため、最近の研究成果等を常に反映させるなど、展示内容の充実を、府民の意見も踏まえながら、図っていく必要があります。

戦後生まれが総人口の8割を超えた今日、ピースおおさかは、展示等を適宜見直すとともに様々な工夫を重ねながら、次代を担う子どもたちに戦争の悲惨さ・平和の大切さを伝えるという重要な役割を果たし続けていかなければならないと考えます。

こうしたことを踏まえ、ピースおおさかがその役割を果たしていくために、大阪府としてどう取り組んでいくのか、お尋ねします。

A3 【田上人権企画課長】

○ 展示については、府民から寄せられた御意見・御指摘を踏まえ、運営財団において、解説文について誤解が生じないようより適切な表記に改める、また、依拠した文献を明記する等、いくつかの手直しを、リニューアルの際に監修をお願いした専門家の意見もいただきながら検討しており、財団内での所定の手続を経て実施予定、との報告を受けている。

今後とも、運営財団において、事実を客観的に展示することを基本に、資料源について十分配慮するなど公平・公正を期すことに留意しながら、展示の点検や調査・研究を行ってまいります。

○ 今後とも、ピースおおさかが「大阪空襲を語り継ぐ 平和ミュージアム」として、その魅力を一層高められるよう、引き続き大阪市と連携しながら取り組んでまいります。